

丸木位里 まきり 日本畫家。明治三十四年八月、千代廣島縣生れ、平成七年十月十九日歿（九二一歳）。大正十一年田中頼璋の師事、昭和十二年岩橋英遠等と組織美術協會を結成し、翌年退會して福澤一郎等の美術文化協會に参加。この組織直後の濟島への救済活動體驗から、二十五年妻の丸木俊（當時赤木俊子名）との共同制作「涼燦の圖」を發表。四十一年埼玉の涼燦の図丸木美術館開設。

著書 『涼燦の圖』畫集普及版（ヤブー九版）四（赤木俊子共著、昭和二十七年四月十日青木書店「青木文庫」）、『画文集ちび筆』（同、昭和二十九年二月一日空町書房）、『涼燦の図』（丸木俊共著、昭和五十二年八月二十五日学働大学）、『鎮魂の道—涼燦・水保・沖繩』（同・水上勉解説、昭和五十九年七月二十日岩波書店「Iwanami Graphic Series」）等。

文獻、本橋成一写真録『ちび筆』の画家—丸木位里・丸木俊の世界也（昭和二十二年四月、千五目晶文社）等。

